

食品や包装材料などに生えたカビの中には、カビ毒を産生するなど、人や動物に有害な種が存在します。

弊社では、従来よりコロニーや菌糸、孢子などの形態観察により、カビの種を同定し、「有害な種か否か」について考察してまいりました。

この度、新たにDNA解析による同定を開発し、同定精度の向上を図ることが可能となりました。DNA解析による同定は、PCRにより増幅したカビ特異的な塩基配列と、データベースに登録されている塩基配列の一致率(%)を算出して行います。

従来の形態観察では同定が難しかった「死菌」、「培養しにくい菌」、「菌糸のみの微小な異物」などについてもカビ種を同定した実績がございます。是非、一度お問い合わせ下さい。

ご依頼

DNA抽出

PCR増幅

DNA解析

ご報告

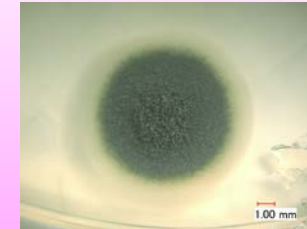
試験 (DNA解析) の流れ

株式会社ハウス食品分析テクノサービス

〒284-0033 千葉県四街道市鷹の台 1-4

TEL : 043-237-5676 FAX : 043-237-2912

※ 試験品や増殖の状態によりPCR産物が得られない場合には、DNA抽出操作代を頂戴いたします。ご了承願います。



カビの例 (左) と試験のイメージ (右)

その他の情報は弊社ホームページアドレスでご確認下さい
<http://food-analab.jp/>

House Food Analytical Laboratory Technical Report 50. 2014.10.16

異物バンク®は、ハウス食品分析テクノサービスの登録商標です。